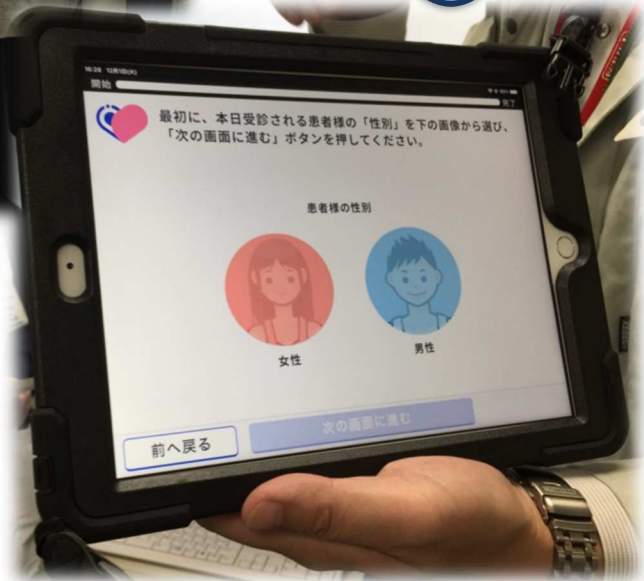


医療情報管理室の
岩田竜一さんが
AI問診の運用方法
を説明して
下さいました。

下は実際の
タブレット。



■ 2021. 2. 24

限られた外来で【AI問診(紙の問診票のかわりに人工知能を使って行う問診システム)】を始めました。

診察前の患者さんのトリアージ(患者さんの症状や重症度によって治療の順番を決める)が出来て適切な診療案内につなげることが導入目的です。

患者さん自身のスマートフォンでの問診ができて診察前に患者さんの症状や状況がイメージできます。スマートフォン操作が出来ない、またはお持ちでない患者さんにはタブレットで対応しています。

AI問診がどこまで診療の補助的役割を果たしてくれるか今後も期待しながら動向を見たいと思います。またAI問診に限らず、AIを活用した医療界の姿は加速化していくのかなと想像します。AIを使って医師は医療に専念し、看護職員は看護業務に専念できるそんな姿で有りたいたいと願うばかりです。

そしてAIが発達しても、人と接する看護の本質は変わらないと実感しています。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。